



ふしぎなまほう



まあちゃんのまほう

たかどの ほうこ さく 福音館書店 E-タ

まあちゃんは、まほうのほんにかいてあった「知っているひとをどうぶつにかえる」おまじないをおかあさんでためしてみました。すると、おかあさんはタヌキになりました。しかし、ずっとタヌキのままだったらどうしようとしんぱいになり、もとももどすおまじないをとえます。もとももどったおかあさんは、まあちゃんといっしょにまあちゃんがいけないことだとおもってたことばかりします。

でっかいねずみとちっちなライオン

イブ・タイタス ぶん 光吉 夏弥 やく 大日本図書 933-タ

ある日、一匹いっの小さなねずみちいがにんげんのせかいをみにいこうと、まちをさがしにでかけました。一匹いっの大きなライオンおおもまちをさがしにでかけました。しんせつなようせいがねずみと、すこしあとからあるいてくるライオンをみかけ、まほうをかけます。それは「ねずみは、せかい一いち大きなライオンおおより大きく、ライオンはせかい一いち小さなねずみちいより小さく」にんげんのめにみえるようにというまほうでした。

アラビアン・ナイトのおはなし

中川 正文 ぶん のら書店 929-セ

むかしあるところに、アラジンというのんきでなまけものな子どもこがいました。ある日、アラジンのおじさんだという男おとこがたずねてきました。しかし、この男おとこはほんとうはまほうつかいだったのです。あくる日、まほうつかいは町まちのそとのせまい谷間たにまへアラジンをつれていき、地面じめんのさけめにあらわれた石いしの下したにあるランプをもってくるようにいいます。(『アラジンとまほうのランプ』)

魔女の宅急便

角野 栄子 作 福音館書店 913-カ

十三歳じゅうさんさいの年としの満月まんげつの夜よる、ひとり立だちをした魔女まじよのキキは、黒猫くろねこのジジとコリコまの町まちに住すむことにします。この町まちにきたばかりの日ひ、キキはパン屋やのおソノさんのかわりにわすれものをとどけることができ、とてもいい気持きもちになりました。三日みっかがすぎたころ、何か自分なににできるものを見つみつけようと思おもったキキは、宅急便たっきゅうびんをはじめることにしました。

まほうつかいのでし

大石 真文 柳原 良平 絵 学研 E-ヤ

あるやまおくに、まほうつかいとでしのオトールがすんでいました。オトールはいつになってもまほうをおしえてもらえなかったので、まほうをぬすんでやろうとかがえます。それからまいにちぬすみぎきをし、3ねんほどたつと、まほうのじゅもんをおぼえこんでしまいました。あるひ、まほうつかいがるすのあいだに、オトールはおぼえたじゅもんをためしてみました。

いろいろへんないろのはじまり

アーノルド・ローベル 作 まきた まつこ やく 富山房 E-ロ

いろというものがなくせかいがはいいろだったころ、まほうつかいはあいろをつくりました。たちまちせかいじゅうがあいろになり、あいろのときがはじまりました。しかしやがてあいろのために、みんなはかなしいきもちになりました。なんとかしようとしてつづにつくったのはきいろです。たちまちきいろのときがはじまりましたが、みんなのめがチカチカして、きいろもそんなによくなかったのです。

魔法の学校 エンデのメルヒェン集

ミヒヤエル・エンデ 作 佐々木 田鶴子 訳 岩波書店 943-エ

もうなん年ねんもまえのことです。わたしは長い旅ながのなかで、伝説でんせつにつつまれた「望のぞみの国くに」へでかけ、しばらく滞たいざい在ざいしました。そして、マーリとムークのふたごと友ともだちになり、このふたりのおかげでときどき魔法まほうの学校がっこうの授じゅぎょう業ぎょうをきくことができました。魔法まほうをつかうために必要ひつようなことは、自分じぶんのほんとうの望のぞみを知るしことだとジルバー先生せんせいはいいます。